

武蔵野市障害者計画・第8期障害福祉計画専門部会（第1回）
令和8年度武蔵野市地域自立支援協議会（第1回親会） 会議録

■日 時 令和8年5月25日（月）午後6時30分～8時30分

■場 所 市役所8階 811会議室

- 1 開会
- 2 委嘱状交付（机上配布）
- 3 市長挨拶
- 4 配布資料確認
- 5 委員及び事務局自己紹介
- 6 武蔵野市地域自立支援協議会、武蔵野市障害者計画・第8期障害福祉計画専門部会について
- 7 会長・副会長（部会長・副部会長）の選出
 - (1) 会長（部会長）選出
 - (2) 副会長（副部会長）選出
 - (3) 会長・副会長（部会長・副部会長）就任あいさつ
- 8 武蔵野市地域自立支援協議会、武蔵野市障害者計画・第8期障害福祉計画専門部会公開・運営に関する確認及び傍聴に関する取扱要領について

9 議事

障害者計画・第8期障害福祉計画専門部会

- (1) 武蔵野市障害者計画・第8期障害福祉計画策定スケジュールについて

【事務局】

資料4について説明。

- (2) 武蔵野市障害者計画・第7期障害福祉計画進捗状況

【事務局】

資料5について説明。

【会長】

部会活動に重なる部分が多かった。10ページNo.40「ピアサポーターの育成の検討」について、実際に都の研修の受講者はいるのか。

【事務局】

都の研修の受講者数は現状把握していないが、ピアサポーターは地域移行・地域定着推進の上でとても重要な役割を果たしていると認識している。ピアサポーターの育成について今回新たに予算化した。病院における退院意向の聞き取りに際し、市職員等による聞き取りだけでは十分に意向を把握できない場合もあることから、ピアサポーターにも協力を得ながら、地域移行及び地域定着の推進を図る考えである。

【委員】

ピアサポーターが主体的に活動できる体制を整備するとともに、活動を促進するための予算を確

保し、人材の養成を進めながら、ピアサポーターが活躍できる場や機会の拡充を図ってほしい。

【事務局】

ピアサポーターの活動の場や活躍の幅を広げていくことに加え、ピアサポーターの活動内容や役割について広く周知し、理解を促進していくことが重要であり、両面を重視しながら取組を進めていく考えである。

【委員】

発言に当たっては氏名を名乗るようにしてほしい。

説明内容に子どもに関する事項が含まれていなかったため、子ども関連の取組について説明してほしい。

【事務局】

通所後や放課後等の居場所の確保は大きな課題となっている。東京都においても令和8年度から予算化が行われたことから、市としても東京都の補助金の活用方法を検討しながら、居場所の確保に向けた取組を前向きに進めていく考えである。

【会長】

障害者計画、障害福祉計画及び障害児福祉計画を一体的に策定する中で、協議会や部会に子どもに関する事項を専門的に検討する場がないため、その点が弱くなっている可能性がある。今後の計画策定に当たっては、子どもに関する視点を意識しながら進めていきたい。

本件に関する意見や質問については、後ほど全体を通して受け付けるほか、別途意見提出の機会も活用してほしい。

(3) 武蔵野市障害者計画・第8期障害福祉計画策定に係る考え方

【事務局】

意見・質問書については、手書きでの提出のほか、二次元コードを読み取って入力する方法でも提出できる。議題のボリュームが多く、その場では意見や質問が難しい場合もあるため、会議終了後に提出してほしい。提出された意見は次回会議で共有し、質問については回答を示していくため、積極的に活用してほしい。

資料6について説明。

【会長】

実態調査報告書についても後ほど議題として報告があるため、どの程度の報告量を予定しているのか確認したい。意見や質問の時間との兼ね合いもあることから、実態調査報告書についても説明が行われるのか確認したい。

【事務局】

3つの調査については後ほど報告の時間を設けているが、内容を詳細に説明することは難しい。今後の議論につなげるための資料として、各自で関心のある部分を確認してほしい。実態調査報告書に関する説明については、先ほどの説明をもって報告としたい。

(4) 武蔵野市障害福祉についての実態調査報告書について

(5) 武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査報告書について

(6) 障害者団体ヒアリングの実施について

【事務局】

資料7～9について説明。

【会長】

実態調査の結果を踏まえて課題を整理したものが資料6になる。また、アンケートの回収率は他自治体と比較しても高く、市や関係者による様々な工夫や尽力があったものとする。

【副会長】

実態調査報告書概要11ページの「災害時の不安」について、障害のある人や障害児の家族が災害に対して大きな不安を抱えている状況がうかがえる。この結果を計画へどのように反映していくのか、また資料6のように災害時支援に関する取組を位置付けていく考えがあるのか確認したい。

【事務局】

今回の課題整理は、実態調査において意見が多かった事項を中心に行ったものである。今後は、本日の資料に対する意見に加え、団体ヒアリング等で寄せられた意見も踏まえながら、関心が高い事項や必要な取組を整理していきたい。災害時支援についても、委員からの意見として受け止め、今後の議論の中で検討していきたい。

【会長】

災害時の対応や支援体制については、これまでも計画に位置付けられていた事項であるため、資料6に記載がないことをもって計画に盛り込まないということではない。

【委員】

資料6に災害に関する課題が掲載されていないことについて、実態調査の結果として優先的に検討すべき課題としては位置付けられなかったということなのか。

【事務局】

災害時の対応は常に重要な関心事項であり、資料6に掲載されていないからといって、重要性が低いと判断したわけではない。計画の中で検討すべき事項として認識しており、今後も位置付けていく考えである。資料6では、アンケート結果の中から特に特徴的であった4つの課題を抽出して整理したものである。

第1回会議は実態調査結果などの基礎的な情報を共有し、今後の議論の土台を築く場と位置付けている。資料を持ち帰り、気付いた点や意見があれば意見・質問書等を通じて提出してほしい。第2回以降は、団体ヒアリングや庁内での検討結果なども示しながら議論を深め、第2回から第4回にかけて計画内容を検討していきたい。ご理解と協力をお願いしたい。

【委員】

実態調査報告書をはじめとする会議資料については、市ホームページの会議資料掲載ページへ早期に掲載してほしい。多くの市民が資料を閲覧し、内容を確認した上で意見を提出できるよう、情報提供の充実を図ってほしい。

【事務局】

多くの方に資料を見てもらうことは重要であると認識している。本日の会議資料については既にホームページへ掲載しているため、関係者にも周知し、広く活用してほしい。

【会長】

実態調査報告書はホームページ等で閲覧できるよう公開されているのか。

【事務局】

本日の会議資料とあわせてホームページに掲載しており、閲覧できるようになっている。

【会長】

この実態調査報告書については、専門部会の会議資料として掲載しているだけでなく、武蔵野市が実施した調査結果として一般に公開しているとの理解でよいか確認したい。

【事務局】

専門部会の会議資料として掲載しているが、今後は調査報告書として独立した掲載ページも作成し、より広く周知・活用できるようにしていく考えである。

【委員】

情報をテキストデータで取得している人もいるため、資料の公開に当たってはPDFだけでなく、同じ内容をテキストデータでも閲覧できるようにしてほしい。様々な障害のある人へ情報が届きやすくなり、情報アクセシビリティの向上につながるため、配慮をお願いしたい。

【事務局】

現在はPDF形式で資料を掲載しているが、テキストデータでの提供が可能か確認し、できる限り多くの人が閲覧しやすい形で情報提供を行っていききたい。

【委員】

送付された資料はPDFではなくデータでも提供されているが、表やレイアウトが崩れており、内容を十分に把握できない状況である。視覚障害がある場合、表のみでは内容を理解することが難しいため、表の内容を説明する文章を併記するなどの配慮が必要である。また、WordやExcel形式で提供された資料についても、レイアウトの崩れによって読み取りが困難な場合がある。現状では資料の内容を十分に理解できず、会議で意見を述べるのが難しいため、アクセシビリティに配慮した読みやすい形式での資料提供をお願いしたい。

【会長】

資料をどのような形式で提供すれば見やすく、読みやすくなるのかについて、事務局と委員で相談しながら検討してほしい。

また、計画策定に初めて関わる委員もいることから、第7期計画の冊子を参考資料として共有してほしい。実際の計画書を見ることで、今後策定する計画のイメージを持ちやすくなると思われる。

本日は資料の量が多く、内容也多岐にわたっていたため、その場で十分に意見を述べるのが難しかった委員もいると考えられる。意見や質問については、配布された意見・質問書を活用し、後日提出してほしい。計画策定に関する資料は毎回分量が多く、その場では気付かなかった点や後から生じた意見もあるため、専門部会を通じて積極的に活用してほしい。意見・質問書は手書きのほか、二次元コードから入力することもできるため、利用しやすい方法で提出してほしい。

【委員】

意見・質問書の入力フォームについては、送付されたリンクからアクセスしたものの、視覚障害者にとって利用しづらい状況であった。スクリーンリーダーで正しく読み上げられず、入力欄の構成や記号の意味も分かりにくいいため、回答方法を理解することが難しい。日頃からパソコンを利用している立場でも操作が困難であったことから、多くの人にとって利用しにくい可能性がある。誰もが利用しやすいものとなるよう、フォームの構成や入力方法を見直し改善してほしい。

【会長】

アクセシビリティ上の課題については、実際の利用状況や困りごとを伺いながら、どのような形式であれば利用しやすいのかについて、委員と相談しながら検討を進めていただきたい。

【事務局】

意見提出については、二次元コードからの入力に限らず、事務局とのメールのやり取りの中でメ

ール本文に直接記載する方法でも構わない。提出方法にこだわらず、それぞれが利用しやすい方法で意見を寄せてほしい。

提出期限は6月1日を目安としているが、資料を十分に確認した上で意見を提出したい場合は、期限後の提出でも差し支えない。できるだけ多くの意見を寄せてほしい。

地域自立支援協議会

(1) 武蔵野市地域自立支援協議会の活動方針について

(2) 武蔵野市地域自立支援協議会（動画）の視聴について

【事務局】

はじめに、会議で発言する際は、発言の前に氏名を名乗るとともに、資料を参照する場合は「資料1の○ページ」のように該当箇所を明示して発言してほしい。案内が遅れたことについてお詫びする。

部会資料2-2（再掲）、自立-1について説明。

【会長】

昨年度から継続して参加している委員も多く、会議の流れは共有されていると思われるが、新たに参加する委員もいるため、活動方針を共有することが重要である。各部会の開始時には、活動方針を説明する動画をぜひ視聴いただきたい。

【事務局】

自立支援協議会次第の（1）に記載している「部会資料2-2（再掲）」は、パワーポイント資料である「資料自立1」が正しい。（2）の「動画の視聴について」が「部会資料2-2」に該当する。資料表記により混乱を招いたことについてお詫びする。

(3) 武蔵野市地域自立支援協議会における個人情報の取扱いに関するガイドラインについて

【事務局】

資料自立-2について説明。

【会長】

非常に重要な内容だったと思う。事例検討や自由な意見交換を行う際には、個人が特定されないよう固有名詞を出さないなど、匿名化を徹底することが前提となる。また、会議の中で共有された情報についても重要な情報として適切に取り扱い、ガイドラインに基づいて運用していく必要がある。各部会では事例を用いた検討を行う機会もあることから、安心・安全に活動を進めるためのガイドラインとして、委員全員で内容を共有し、適宜確認しながら運用してほしい。また、各部会のキックオフ時には活動方針とあわせて本ガイドラインについても共有してほしい。

(4) 専門部会名簿および部会員のメールアドレス徴取について

【事務局】

資料自立-3について説明。

【会長】

名簿については作成途中のものも含まれているため、取扱いに迷う点やメールアドレスの利用方法などで不明な点がある場合は、事務局へ相談してほしい。

【委員】

住まい部会の名簿に記載されている「ミュー」について、正式には「あいる」ではなく2人とも「ミューのいえ」になるため、訂正をお願いしたい。

(5) 専門部会の活動報告について

【会長】

今年度に入ってから部会を開催したのは当事者部会のみであると思われるが、新年度の体制に向けて各部会でメンバー構成の調整や準備を進めていることから、現在の状況について各部会長から一言ずつ説明してほしい。

【委員】（相談支援ネットワーク部会）

相談支援部会については、今年度はまだ活動を開始していないが、取り組むべき事項は整理できているため、着実に進めていきたい。また、既定の取組に加えて新たに進めたい事項もあり、今後部会員と協議しながら実現に向けて取り組んでいきたい。

【委員】（地域移行部会）

今年度は主に二つの取組を進めていきたい。一つは、今年度事業化された動機付け支援に関連し、病院に対する調査を実施したい。調査結果を動機付け支援事業に活用できるよう、有効なデータの収集につなげていきたい。もう一つは、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの協議の場について、既に骨子案が示されていることから、その協議を進めていきたい。

【会長】

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築については、国の基本指針においても各自治体で協議の場を設置することが求められている。本協議会がその協議の場として位置付けられているため、引き続き協議を進めていただきたい。

【委員】（住まい部会）

昨年度後半から、一人暮らしに向けたリーフレットの作成に取り組んでおり、今年度もその取組を継続していく。第1回部会を6月19日に予定しており、これまでの内容を引き継ぎながら作業を進めていく。

【会長】

当事者部会については、資料に議事録も添付されている。第1回部会を4月20日に開催しているため、その内容も含めて活動状況を報告してほしい。

【委員】（当事者部会）

当事者部会では、4月から活動を開始している。議事録には記載しきれていない議論も多く行われている。

今年度は、昨年度に引き続き模擬選挙など選挙に関する取組を進めるとともに、「私たちの意見」の改訂版として、2026年度版・バージョン3の作成を予定している。単に意見を列挙するのではなく、当事者がどのような場面で取り残されているのか、また権利が十分に保障されていない状況がどこにあるのかについて、実際の経験に基づく声を質的に掘り下げながら整理し、形にしていくことを重視して議論を進めている。

また、現在は夜間開催を基本としているが、夜間では参加が難しい人もいることから、今後は昼間開催の可能性についても検討していきたい。

【会長】

交流・集い部会については、現在体制を調整している段階であるため、体制が整った後に改めて

活動状況を共有してほしい。新たな体制のもとでの活動に期待したい。

住まい部会は6月19日に第1回部会を開催する予定である。各部会とも日程調整や体制整備を進めている段階であり、計画策定と並行した運営は負担も大きいと思われるが、部会長をはじめ関係者には引き続き協力をお願いしたい。

10 その他

【委員】

計画策定に関連して、現行の第7期計画の概要版があれば共有してほしい。計画全体の構成や方向性を把握することで、今後の議論や計画策定の流れをイメージしやすくなる。

また、今後のスケジュールや、次回会議までにどのような視点で資料を確認すればよいのかについても示してほしい。資料量が多いため、各自が関心のある部分を確認する形でよいのか、あるいは第7期計画の重点施策など特定の視点に沿って検討すればよいのかが分かると、効率的に資料を読み込み、議論に参加しやすくなる。

【会長】

第7期計画の冊子は分量が多いため、概要版を参照しながら第8期計画の検討を進められると理解しやすいと思われる。

また、計画策定の進め方についても、今後どのような議論を行うのか全体像が分かるような案内があると、委員として参加しやすくなる。スケジュールは示されているものの、各回で何を検討するのか、どのような視点やポイントで議論を進めるのかといった内容も共有してほしい。前期計画策定時の進め方なども参考になるため、可能な範囲で示してほしい。

【事務局】

概要版や計画策定の進め方については、委員が全体像を把握しやすくなるため、共有していきたい。概要版を通じて前期計画の内容を確認することも重要である。

今回提示した資料6は、国や東京都の方針、社会動向、実態調査結果などを踏まえて整理した課題や方向性を示したものであり、計画策定に向けた一つの材料として位置付けている。まずは資料6を確認し、それぞれの立場や活動の中で感じている課題や実感と合っているかどうかを考えてほしい。

第2回会議では、委員が関心を持っている分野や日頃から課題と感じている事項について意見を出してほしい。また、障害者福祉課職員が現場で感じている課題や、団体ヒアリングで把握した意見等も共有する予定である。その内容を踏まえてさらに検討を深め、第3回以降の議論につなげていきたい。

各回で資料や情報を持ち帰り、内容を整理・検討した上で次回の議論に臨むことを想定している。第4回では、それまでの議論を踏まえて取りまとめた中間整理案を示し、内容の過不足や修正点について意見をいただきながら計画案を作り上げていく予定である。

【会長】

今後の検討に当たっては、各回でどのような視点や項目について意見を求めるのかが分かる資料を示してもらえると議論しやすくなるため、検討してほしい。

また、このような会議の場では発言しにくいこともあると思うが、日頃の仕事や地域活動の中で感じている課題や気づきを積極的に共有してほしい。アンケート結果として整理された内容だけでなく、そこから漏れている課題や現場で感じている実情もあると思われるため、それぞれの立場か

ら率直な意見を出してほしい。資料の提示方法についても、事務局において検討してほしい。

【事務局】

繰り返しとなるが、本日の議論や説明内容を踏まえ、意見や質問があれば会議終了後でも提出してほしい。資料を読み返した中で気付いた点や追加の意見についても、今日以降に提出してもらえればよい。

また、意見提出用のオンラインフォームについては、本日中にメールでURLを送付する予定である。メールに記載されたURLからアクセスすることで内容をテキストとして確認できるため、活用してほしい。

【会長】

計画策定と部会活動の両方を進めていくこととなり負担も大きいと思われるが、計画策定については会議の場だけで十分な議論を行うことは難しいため、メールやオンラインフォーム、紙媒体など利用しやすい方法で積極的に意見を寄せてほしい。提出された意見については整理した上で今後の議論に活用していく。

2時間にわたり協議を行ったことへの感謝を伝えるとともに、引き続き6月の会議においても協力をお願いしたい。以上をもって協議会を終了する。

11 閉会